

編集後記

七月にお便りしたお盆のご案内で、次のように書きました。

(妙心寺派は)劣悪な状態にある妙心寺の文化財をまもる収蔵庫をつくるのか、禅にかんする研究者への奨学金制度を作るとか。こういった事業を今年の四月から始める予定でした。そこへ大震災。わが妙心寺教団はどうしたか。四月から予定していた記念事業を全部いったん休止してしまつたのです。大震災の義援金のほか、被害をうけた妙心寺派に属する寺院の復興資金と、その檀家さんへ相当額のお見舞い金をおくるために、文化財や奨学金は少し我慢してもらおうというのです。

自分の所属する教団を誉めるのは、あまり聞きやすいものではないでしょうが、これって潔いではないですか。「いさぎよい」とはすつきりしていて決断の早いこと。伝統教団は、新興の宗教に比べて社会状況への反応が遅いと批判されてきました。汚名返上ではないけれど、地震発生から数日後には記念事業をすべて凍結した妙心寺教団です。

この文章を書いたのは六月初めです。その時にはみなさんに教団として義援金をお願いするという方針がきまつていました。そんなおもわくはオブラートに包んで書いたのですが、住職の魂胆をうすうすと感じた方もおられたと思います。なにぶん、すでにいろいろな義援・募金にご協力のことと思いますが、妙心寺派の「おかげさま」という互助のテーマに共鳴いただきご協力ください。お互いに助け合うのがテーマですから

今回ご協力いただいた方のお名前は本山に報告し、逆に災害等を受けた場合は相応のお見舞いの対象になります。こうした対応は、数十年前から本山では行っているのですが、広報の仕方が悪いので、承知されていないのが現状です。

さて、大震災から百日が経つた六月十八日の夕方、テレビに被災地の様子が映されていきました。津波に保育所の幼子が流され、未だに遺体も確認できないという報道です。二十代前半の若い母親が、保育所のがれきを掘り起こしています。そして、泥にまみれた小さなプラスチックのおもちゃを手にしていました。私は映像を批判的な思いで見っていました。「わざわざ悲しみを掘り起こさなくてもよいのに」

しかし、長靴をはいてスコップを手にしたヤングママは言いました。「今日を限りに、おもちゃを掘り起こしたりしません。遺体も探しません。涙をぬぐって前を向いて生きていきます」その言葉に、仏僧である私は打ちのめされます。なぜなら、百ヶ日忌のことを「卒哭忌(そっこく忌)」というからです。「哭」は大声で泣くこと。「卒」は終わるということ。大事な人を亡くして三ヶ月ちよつと経つたら、泣くのを終えて立ち上がるという教えです。

あのヤンママは、涙も枯れ果てたあの日、「立ち上がらなくては」と決心したのでしよう。卒哭です。

仏教儀礼を無意味という声もあるけれど、それぞれの忌日には、それぞれの名が付けられて、意味があります。あのヤンママがそれを確認させてくれました。

日曜の朝の坐禅会

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方にも丁寧な坐り方をご案内します。三十分ほど坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時には終わりです。

教養講座

【金つぎ教室】日程 講師 花輪滋實

第三土曜日午後一時半～四時半まで

【仏像を彫る会】日程 講師 高野竜生

午後一時半～四時半まで

原則として第二・四日曜日です。

※各家墓所の改修時は

各家の墓所を大きく改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺にご連絡ください。なお、墓地を整備したため、十カ所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お頒けすることができます。詳しい事は寺へ直接連絡ください。

※年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館(三階建)は、年忌法要後のお食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で十八席。三階は畳に座布団で四十名くらいまで会食できます。お使いください。

平成二十三年秋彼岸

松岩寺だより

発行 花岡博芳

東日本大震災

妙心寺派檀信徒・寺院へのお見舞金をお願い

すでにいろいろな義援金にご協力のことと思いますが、「おかげさま」の互助の精神に共鳴いただきご協力ください。

※ 金額＝一口壹千円(二口以上で)

同封の郵便振替用紙で郵便局から送金してください。
あるいは、彼岸法要・年忌法要などの時に、同封の封筒に記名して寺へご持参ください。

※ 募金期限 平成二十四年一月十日迄

9月20日(火)から25日(日)まで、
墓地ではお花とお線香を用意しています。

松岩寺の本山は京都にある妙心寺です。同じように妙心寺を本山とする寺院は全国に三千六百ヶ寺あり、福島県・宮城県・岩手県には二五〇ヶ寺あります。今回の大震災で大きな被害を受けた寺院は二百。死亡・不明の妙心寺派檀信徒が約千人。全壊・半壊の妙心寺派檀信徒家屋が一万戸。福島原発による避難者数は未だ不明とのことです。妙心寺教団として、すでに五億円を東北三県と茨城県・千葉県に義援しました。それに加えて、教団に直接関係する檀信徒と寺院への援助のために「おかげさま」の互助の精神に共鳴いただきご協力ください。
今回の大震災への教団としての対応については、このお便りの「編集後記」あるいは妙心寺派ホームページなどをご覧下さい。